

## 宮城県駅伝競走大会 新型コロナウイルス感染症 感染防止対策等の諸連絡 [出場チーム向け]

本大会へ出場するにあたり、来場するすべての人は、次の各項に記載の内容を必ずご確認の上、内容を理解し、来場してください。なお、出場チームの皆様については、エントリー時に各チーム1枚、本諸連絡に対する同意書をご提出いただきます。同意書が提出されない場合には本大会への出場は認めません。

### ① 主催者が定める事項への同意

#### (ア) 個人情報の取得について

- 1) 競技運営目的以外に感染症予防対策目的に、来場するすべての人の各種情報（氏名、連絡先、年齢、健康状態等）の個人情報を、別途定める「体調管理チェックシート」により取得します（主催者事務局で1か月間保管します）。なお、同チェックシートは大会前（2週間前から大会当日）と大会後（大会翌日から2週間）の2種類あり、大会後の同チェックシートについては、記入後は各チームで保管とします。ただし、大会当日の来場者に新型コロナウイルス感染症をはじめ、体調不良等が生じた場合には、主催者がチェックシートの提出を求めることがあります。
- 2) 万一、感染者が発生した場合、主催者は保健所・医療機関等の第三者へ対し、情報提供することがあります。（主催者として個人名や所属名等の公表は行いません）

#### (イ) 新型コロナウイルス感染症 感染予防策について

- 1) 主催者からの健康状態の確認に応じてください。健康状態の把握対象期間は、大会日の前後2週間です。なお、健康状態の確認は前項（ア）-1)に記載の通り「体調管理チェックシート」により行うこととしますので、大会前（2週間前から大会当日）と大会後（大会翌日から2週間後）の同チェックシートを必ず記入してください（大会前のみ当日に提出し、大会後は各チームで保管してください）。上記対象期間外で体調に異変が生じた場合には、チームの方針に従ってください。
- 2) 競技会 3週間前に「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった場合には、主催者として次の通り対応することとします。また、「感染者」、「濃厚接触者」と認められた場合には、必ず主催者に報告してください。
  1. 感染者 [3週間前以降]  
部員（選手、主務等）および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、PCR検査・抗原検査において「陽性」反応があった場合、いかなる場合でも、該当者の出場および会場への立ち入りを認めません。
  2. 濃厚接触者 [開催3週間前～2週間前前日] 部員（選手、主務等）および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合にはチーム、個人問わず出場を認めます。
  3. 濃厚接触者 [2週間前以降]  
部員（選手、主務等）および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、保健所から濃厚接触者と認められた場合、いかなる場合でも、該当者の出場および会場への立ち入りを認めません。
  4. 感染疑い者 [3週間前以降]  
部員（選手、主務等）および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、感染疑い症状（発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等）が発症した場合には、インフルエンザ等の新

型コロナウイルス感染症以外の感染症リスクも考慮し、原則として該当者の出場および会場への立ち入りを認めません。

ただし、次の 2 つの要件を両方満たしている場合には、出場および会場への立ち入りを認めることとします。

\*感染疑い症状の発症後から少なくとも 8 日以上が経過している（発症日を 0 日として 8 日間とします）。

\*薬剤を服用していない状態で解熱後および症状（※）消失後、少なくとも 3 日以上経過している（解熱日・症状消失日を 0 日として 3 日間とします）。

（※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚症状等）

3) 大会当日に発熱等感冒症状（※）を有する（感染疑い）場合は、当該者は出場を認めません。なお、スタート地点や中継所での検温で 37°C 以上、医師の判断により感染疑いと判断され当該者の出場が不可となった結果、出場者が 10 名未満となる場合には、チームとしての出場を認めません。主催者が必要と認める場所において、サーモグラフィーあるいは非接触型体温計、接触型体温計などによる検温を実施します。（※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚症状等）

4) 主催者が定める感染症対策に関する協力要請を行った場合、これに応じてください。特に、来場するすべての人に対してマスク着用を義務化し、必要に応じて手袋やフェイスシールド等の着用を促すこととします。また、着用したマスク等は競技会場で捨てず、自身で所持し、自宅で廃棄してください。

## ②各場面における感染症予防策の徹底

### (ア) 事前

1) 主催者が認めるすべての来場者に対して、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）」の導入（インストール）を推奨します。導入した場合には、常時スマートフォンを所持してください（競技中の選手は除きます）。

2) 来場するすべての人には、主催者が指定する様式にて、競技会開催 2 週間前から当日までの健康状況のチェックを求めます（様式とは前記の「体調管理チェックシート」を指します）。

3) 前項①-(ア)に記載の通り、個人情報の取得に関して同意していただきます。また、年齢が 65 歳以上の方、基礎疾患を有する方が来場される場合、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化するリスクが高い旨を認識していることに同意の上で来場してください。

なお、これらの同意は主催者が指定する様式にて得ることとします（様式とは前記の「体調管理チェックシート」を指します）。

### (イ) 当日

1) サーモグラフィーや非接触型体温計、接触型体温計にて検温を実施します。入場の際に、37°C を超える場合には、改めて接触型体温計（脇下）で再測定し、37°C 未満の場合は入場を許可します。再測定でも 37°C を超える場合、再度 15 分後に接触型体温計（脇下）で測定し、それでも 37°C を超える場合には、出場を取り消す場合がありますので、主催者の指示に従ってください。

2) 来場するすべての人は、常時マスクを着用してください（出場選手は、競技中（レース、ウォーミングアップ）においては、その限りではありません）。なお、マスクは自身で準備することを前提とし、着用したマスクは競技会場で捨てず、自身で所持し、自宅で廃棄してください。

3) スタート、フィニッシュ地点でのチーム同士の声掛け、円陣、胴上げは禁止とします。また、中継地点における次走者への声掛けは禁止とします。

- 4) 手指用アルコール消毒液を各所に設置し、手指消毒を行っていただきます。
- 5) 競技会場内にはごみ箱を設置しない為、各自が自己責任で処理（原則は持ち帰り）してください。特に飲料や鼻水、唾液等が付着したごみは確実に持ち帰るように徹底してください。
- 6) 常時、身体的距離（概ね 2m 以上）を確保することを意識してください。
- 7) 手洗い場に主催者側でポンプ型ハンドソープを準備しますのでトイレ利用後に必ず使用してください（手洗い方法を掲出します）。

#### ◇運行車両の対応

##### 1) 車内の消毒

運行前に車内の除菌、並びに除菌シートまたは消毒液等の準備をする。

##### 2) 運転手の健康管理

運転手には手洗い・うがいの励行と体調管理の徹底、マスクの着用を促す。

##### 3) 車内換気

運行中は外気導入運行を実施し、常に車内の空気を入れ替え行い運行する。

##### 4) 乗降時の手指の消毒とマスク着用

車両乗降時の手指の消毒と乗車中はマスクの着用する。

##### 5) 車中での食事の禁止

車中での飲食は禁止し、大声での会話は控える。

##### 6) 座席について

座席の移動は控え、最低 1m 以上座席の距離をとる。

##### 7) ゴミの回収

車内で発生したゴミは持ち帰り。

#### (ウ) 競技会終了後

- 1) 来場するすべての人には、主催者が指定する様式にて、競技会終了 2 週間後までの健康状況のチェックを求めます。出場チームにおいては、責任者（監督）が内容を確認した後に、各チームで保管してください。
- 2) 競技会終了後、発熱あるいは感冒症状（※）が出現した際は、必ず居住地自治体の保健所または帰国者・接触者相談センターに連絡をとり、その後の指示を仰いでください。なお、これらの経過については必ず都度主催者に報告してください。

※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等

#### (エ) 日常生活

- 1) 日々の生活においては日本陸上競技連盟が策定した「日常活動について」を参考にいただき、特に次の点に留意してください。

##### 1. 食事における留意事項

- ・寮生活等で選手同士と一緒に食事をする場合、隣り合う席（選手）との距離を可能な限り 2m、最低でも 1m を確保し、向かい合わせの配席はしないでください（寮生活ではない場合でも食事の際は隣り合う席との距離を意識してください）。
- ・寮の食堂等で、まとまって食事をする場合には、十分な広さの部屋を確保してください広さが不十分と判断する場合には、グループ分けをする等、密にならない環境を作り出すよう努めてください（食事中、入替え時の換気は常に意識してください）。
- ・食事の際には、ビュッフェ形式ではなく、一人ずつ取り分けた状態で用意してください。

・食事中の会話は避け、会話をする際はマスクを着用するよう留意してください。

## 2. ミーティングを行う際の留意事項

・対面のミーティングを実施する場合、必ずマスクを着用し、屋内の場合には部屋の換気に留意してください。

・ミーティングに出席するすべての人は、隣り合う人との距離を可能な限り 2m、最低でも 1mを確保してください。

3. 学校関係者やOB等による密集した場所での壮行会は控えてください。また、普段生活を共にしていない方との食事会はお止めください。

4. 競技会開催日[3週間前]まで、感染リスクが高まる3密を避ける行動を心掛けてください(以下に例を記載します)。

・飲酒を伴う懇親会、接待を伴う飲食の場への参加

・寮生活を除く、飲食店等での大人数や長時間におよぶ飲食

・マスクなしでの会話

・カラオケ(大声を出す環境)

・飲食店等でのアルバイト活動

## (オ) 宿泊

1) 出場選手あるいはチーム関係者が、ホテル等の宿泊施設に前泊または後泊する場合、その所在と連絡先を主催者へ報告してください。また、次の点について留意して、チームとして対応してください。

1. 宿泊施設に泊まる場合、一人部屋を推奨します。2名以上が同室に宿泊する場合は極力マスクを着用するように努めてください。

2. 宿泊施設で食事をする場合、チーム専用として使用可能か検討してください。

3. 宿泊する部屋の消毒、換気を行ってもらうよう事前に宿泊施設へ依頼してください。

4. 従業員との接触を減らすためチームの不在時に清掃する、または、清掃しないことを検討してください(宿泊施設への依頼)。

5. 宿泊施設内の各所に手指消毒用のアルコール消毒液を設置してください(もしくは自身で所持してください)。

6. 室内でもこまめに手洗いを行い、宿泊する部屋以外では、マスクを着用してください。

7. 宿泊する部屋の換気を常時意識してください(窓が開閉式でない場合、空調で対応してください)。

8. エレベーターのスイッチや階段の手すり等に素手で触れないようにしてください

(触れた場合、手指の消毒を行ってください)。

9. 宿泊施設内にサウナやフィットネスルーム、バー等がある場合には、それらの施設を使用しないでください。

10. 宿泊施設でトレーナーによるマッサージ等を行う場合、トレーナーはマスクの着用、手指消毒等の予防対策をとった上で実施してください。

## (カ) 移動

中継終了後、原則として速やかに帰宅してください。

## ③ 競技会開催および来場に際しての各種連絡事項

(ア) 体調管理チェックシートは当日に必ず持参し、提出用の用紙をチーム責任者が提出してください。

この時に責任者不在の場合には、チームとしての出場を認めません。なお、個人の体調管理チェッ

クシートは選手、付き添い、監督ともに必ず提出してください。

(イ)ウォーミングアップは、選手同士の距離を十分に確保し実施してください。

(ウ)いかなる場合でも唾や痰を吐くことを禁止します（給水時に飲料を口に含んで吐き出すことも同様に禁止です）。

(エ)一般の方に対しては、沿道観戦を控えていただき、関係団体(OB会、応援団等)に対してもその旨を周知してください。また、コース沿道近隣でのいかなる活動も一切禁止することも理解してください(学校新聞の配布、学校名や個人名が入った幟等の掲出のみも不可です)。

#### ④ その他

(ア)主催者は、出場チームおよびその関係者、競技運営関係者の感染に対するいかなる責任も負わないことをご理解ください。

(イ)本諸連絡は今後改訂される場合があります。その場合は宮城陸上競技協会公式 HP (<http://jaaf-miyagi.com>) で更新するのでご注意ください。